

平成30年度の家庭ごみ有料化手数料はどのように使われる予定なの?

家庭ごみ有料化に伴う手数料収入(見込)2億8.000万円の使いみち

家庭ごみ手数料(指定ごみ袋)収入は、ごみの減量・リサイクル推進、環境教育、不法投棄や不適正排出対策、市民や地域における環境活動の支援などに活用されます。

☆資源化と市民の取組みへの支援

1億 3,800 万円

- 紙類や廃プラスチックの資源化
- 集団回収奨励金
- コンポスト、生ごみ分解処理容器「キエーロ」など購入助成
- ・ ごみ処理施設の管理運営経費 など





2,430 万円

☆ごみステーション問題の改善や排出マナー向上

- 環境美化活動推進経費
- 折りたたみ式ごみステーション経費 など



240 万円

☆普及啓発・環境教育

- ごみ収集カレンダー印刷
- ・ 分別・減量啓発イベント用経費 など



1億 1,530 万円

有料化を実施するための経費

- 指定ごみ袋の製造、販売委託、保管
- ・ 2歳未満の乳幼児世帯の負担軽減などのごみ袋経費 など

